

いとう

衆議院議員

のぶ ひさ
信久

泉州の医療改革

日本維新の会

本号では、いとう信久さんの
目指す政策などをお伝えします。

衆議院議員
プロフィール

いとう信久

1964 年生まれ。
神戸大学医学部医学科卒業、大阪市立大学大学院医学研究科修了、ウイルス学医学博士。
伊東くりにつくみどり診療所（泉南）院長 / メゾン・デ・サントネール泉佐野・阪南 顧問医師 / 泉佐野泉南医師会会員 / 貝塚ライオンズクラブ会員 / 泉佐野商工会議所会員 / 岬ラグビースポーツ少年団コーチ
衆議院議員（現在 3 期目）。総務委員会・決算行政監視委員会。

統一地方選挙にて

4月に行われた統一地方選挙において、日本維新の会は全国で今回の当選者と現職議員の合計数が774名となり、馬場代表が中期経営計画で目標に掲げていた600名以上を大きく上回る結果となりました。大阪19区においても、新たな地方議員が8名誕生し、国会議員1名、市町長4名、府議3名、市町議26名の総勢34名となりました。

泉州をよりよく住みやすい地域にするために、私たち維新のメンバーは一丸となって改革をすすめてまいります！



いとう通信 第17号

お問合せ・お申込みは、こちらでもお気軽に！

発行元 **いとう信久事務所**

〒598-0055 大阪府泉佐野市若宮町 7-13 田端ビル 4F
TEL : 072-463-8777 FAX : 072-463-8776



www.n-ito.jp



facebook.com/nobuhisai



@nobuhisaito1



nobuhisaito

伊東だからできる、維新だからできる。

地元関連活動・国会活動(委員会質疑)

地元会合にて

地元貝塚市にて、勉強会にお招き頂き、昨今の情勢について講演しました。

「どうする日本」というテーマで、現在の日本の経済情勢、ロシアによるウクライナ侵攻の影響等について講演をさせて頂きました。国際情勢が日々の私たちの生活にいかに関与するのか、参加頂いた方々からも多くの質問を頂きました。今後も、各地で積極的に発信し、国政に反映してまいります。



アスベスト集会にて

アスベスト健康被害の格差とすき間のない補償を求める院内集会と関係省庁との意見交換会が衆議院内で開催されました。



大阪維新の会所属の泉南市の山本ゆうま市長や阪南市の水野けんじ市長と共に参加しました。

2014年の最高裁判決を受けて、厚労大臣は原告に対して正式に謝罪しましたが、労働者以外の近隣曝露や家族曝露の救済など残された課題もあり、これまでに数多くの声を地元や医療現場でお聞きしています。

伊東と維新の会は全てのアスベスト被害者の救済を目指して、引き続き活動を進めて参ります。

決算行政監視委員会にて

ふるさと納税で多くの寄付を集めたことを理由に地方交付税を減額したのは、違法だとして大阪府泉佐野市が国を訴えた裁判で、5月10日、大阪高等裁判所は国の決定を取り消した一審判決を変更し、「法律上の争訟に当たらず」として泉佐野市の請求を却下する判決が言い渡されました。



5月15日(月)の決算行政監視委員会にて、国と地方が衝突する事態での制度的な補完を総務大臣に強く求めました。今回の判決では、行政内部の紛争を裁判所の審理対象にするには法律によって権限を定めることが相当の意見が示されました。地方交付税制度に関する紛争を裁判の審理対象にするような法整備を求めましたが、総務大臣からは最高裁判所への上告の可能性を理由にその回答は得られませんでした。

真に地方分権改革を進めていくのであれば、財源に関する諸問題についても果敢に挑んでいかなければなりません。地方交付税制度に限らず、ふるさと納税のような地方が頑張る財源を作ろうとする努力は報われなければなりません。質疑の中で、国地方係争処理委員会の審査対象を拡充する方策など具体的な提案も述べました。引き続き地方分権がしっかりと進むよう改革を訴えてまいります。

ポスター掲示 のお願い!

ご自宅・駐車場・倉庫・会社・店等に
ポスター掲示のご協力下さい!
ご協力下さる方は記載(表面)の
事務所までご連絡下さい。
担当者がお伺いさせて頂いた上で
掲示させていただきます。

